
くだん

夢野ユーマ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

くだん

【コード】

N6430P

【作者名】

夢野ユーマ

【あらすじ】

くだん。大災害、大戦争を予言する魔物。

ブルルと電話が鳴り、貴子は受話器をとった。

「貴子？」

「あら、美弥子」

四国のテレビ局でアナウンサーをしている友人の美弥子だった。

「どうしたの？」

「あなた、一応、国文だったから、くだんって知ってるわよね」

「失礼ね、一応じゃなくて、完全に国文よ。くだんって、あれでしょ。「枕草子」や古代説話に出てきて、内田百けんや小松左京も取り上げている。鬼の顔に牛の体で、大戦争や大災害を予言するって言う」

「そうそう」

「それがどうしたの？年末年始にオカルトの特番でもやるの？」

「それがね・・・東京の本局の人が街頭インタビューをしていたら・・・くだんが映っていたんだって！」

貴子は大笑してしまった。

「笑ってる場合じゃないわよ。そのカメラマン、靈感が強い。気をつけて」

「はいはい」

電話を切った貴子はブランド品のコートや宝石の品定めを始め、すぐくだんのことなど忘れてしまった。夜、パーティーがあるのだ。

一方、八歳の少年、幸満は白川公園にいた。幸満の両親はケンカばかりしているので、飛び出してきたのだ。白川公園はホームレスの人のテントが張ってあり、一人で行ってはいけないと言われていたが、幸満はやけになっていて、かまわなかった。

と、茂みの中に何かがいることに気づいた。恐る恐るのぞき込み、幸満は絶句した。

牛の体に、異形の頭を持ったものがうずくまっていた。しかし、それは幸満に優しく話しかけてきた。

「坊や、坊やは素直そうね。頼みたいことがあるの。今夜、恐ろしいことが起こるの。駅前にいる人に逃げるよう伝えて」

幸満はうなずいた。駆け出す。バケモノなのだが、くだんは哀しそうに見えた。

名古屋の駅前には超高層ビルが建ち並び、その中にはブランドショップや高級料理店がたくさん入っている。そこに入っていく人々に幸満は呼びかけた。

「ここ、危ないんだって！逃げて！」

しかし、誰もそれに耳を傾けなかった。

貴子もミッドランドスクウェアのクリスマスパーティーにやって来ていた。小さい子が通行人に何かを必死に話しかけている。

警備員が近づくと前に貴子はコートのポケットからスターバックスの

黄金のコインを模したチョコレートを取り出した。

「坊や、これをあげるから広場で遊んで来なさい」

幸満は哀しげにスゴスゴと去っていった。

裕福そう、幸福そうな人々が超高層ビルに吸いこまれていく。幸満は広場でへたり込んだ。と、何人かのみすぼらしい身なりの若者がビルから飛び出してきた。一人が銃口を幸満に向けた。

「やめろ！あの子は明らかに俺たちの側の人間だ」
若者たちは去っていった。

貴子は恋人の大学教授・雅春にくだんのことを話した。

「くだんだって」

次の瞬間。

幸満はミッドランドスクウェア、ルーセントタワー、セントラルタワーなどが大爆発し、崩れ落ちていくのを目撃した。ガラス片が飛び散る。中小のビルも炎に包まれていく。

パパとママの所に帰りたいよう。うずくまって泣く幸満の所に、火の海をかき分けて、異形のものがやって来た。幸満はその首にすがりつく。鬼の瞳は不思議と優しく、哀しかった。くだんは地獄にな

った街を駆けていく。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6430p/>

くだん

2011年10月7日15時19分発行